

出前講座・市民講座実績

◇平成28年度

① 平成28年 5月9日(月) 於：愛知県立春日井高校 参加者： 28名

テーマ「地震と津波」

講師： 名古屋大学 中村友昭氏

主な内容：

地震による津波の発生機構，東北地方太平洋沖地震による津波の特徴，被害の状況，被害の発生機構，津波の特徴(通常の波(風波)との違い)，津波対策(ハード対策，ソフト対策)などについて，途中でクイズを交えながら，説明していただきました。

出前講座依頼者の感想：

- ◆プロジェクターを用いて映像を交えて進めてくださいました。
- ◆津波の実例を交えながら具体的かつわかりやすく講話してくださいました。

② 平成28年 6月 8日(水) 於：(株)光建 参加者： 90名

テーマ「地震の調べ方」

講師： 松坂鑿泉(株) 由井恒彦氏



主な内容：

- ・主な地質調査方法の紹介
- ・どういった場合にどの調査をやるか
- ・平地(土砂)と山地(岩盤)の調査方法の違い
- ・柱状図、地質断面図の見方と使用上の留意点
- ・調査事例

出前講座依頼者の感想：

- ◆進行については、パワーポイントにより、遠くからでもわかる図や写真を駆使され、テキパキと解説いただきました。
- ◆柱状図などの見方については、わが社の監督者層にとっては大変実のある講話と好評でした。

③ 平成28年 6月30日(木) 於：愛知県立起工業高等学校 参加者： 18名

テーマ「液状化しそうな地盤とは？作って調べてみよう」講師： 名古屋大学 山田正太郎氏

主な内容

1. 液状化って何？
2. 目で見て確かめよう液状化現象 ← 液状化実験
3. 液状化はなぜ起こるのか？
4. 液状化はどこで起きやすいのか？
5. 液状化を生じさせないためには？

出前講座依頼者の感想：

- ◆今実験と講義をバランスよく配置され、生徒の集中力が続くものでした。
- ◆地震という生徒の気をひく内容を扱ったうえで、生徒の住む地域を取り出して生徒が関心を持つものにしていただきました。

④ 平成28年 7月 11日(月) 於：愛知県立小坂井高等学校 参加者： 41名

テーマ「橋のふしぎ」

講師：

名古屋工業大学
永田和寿氏



主な内容：

1. 橋の形式・構造, 2. 日本・世界の橋, 3. 体験型実験

出前講座依頼者の感想：

- ◆講義では、PowerPointを利用し、非常に見やすく、講義して頂き、誠にありがとうございました。
- ◆PowerPointを利用した講義のみならず、橋の模型を用いることで、生徒も「全然違う！」と実感することができたように感じます。

⑤ 平成28年8月20日(土) 於：徳友会 参加者： 51名

テーマ「地震と津波, 津波と高潮」

講師：

名古屋大学 水谷法美氏



主な内容：

1. 地震のメカニズムと津波の発生機構, 特性及び津波災害
2. 高潮の発生機構とその特性及び高潮災害
3. これまでの被害とそれに対する方策
4. 津波高潮に対する行政の取組みと建設業の役割

出前講座依頼者の感想：

- ◆とても分かり易い説明で、資料も見やすく理解が進んだと思います。
- ◆当地方でも、南海トラフ地震とこれに伴う津波の発生が懸念されており、大変興味深い内容でした。津波の被害から如何に身を守るのか具体的な話もあり大変為になりました。

⑥ 平成28年11月 1日(火) 於：愛知県立鶴城丘高等学校 参加者： 28名

「阪神・淡路大震災ならびに東日本大震災から
テーマの
教訓と大震災への対応について」

講師：

名古屋工業大学名誉教授
山本幸司氏



主な内容：

阪神・淡路大震災ならびに東日本大震災の発生時と直後の対応について、問題点を指摘し、来るべき大地震に向けての事前対応について説明し、合わせて、減災に向けての社会基盤施設整備の考え方についても講義いただきました。

出前講座依頼者の感想：

- ◆10分間のトイレ休憩などを挟み、効果的な休息が取れ適切な講義形でした。
- ◆講義用資料をご準備していただいたおかげでとても分かり易いご講義でした。

⑦ 平成28年11月8日(火) 於：愛知県立鶴城丘高等学校 参加者： 37名

テーマ「自然災害に強い町造りの初歩」 講師： 名古屋工業大学 張 鋒 氏



主な内容:

地震・豪雨など自然災害の仕組みを簡単に紹介し、その対策を身近な例を通じて解説していただきました。

出前講座依頼者の感想:

- ◆先生のご紹介の後、ご自身で本日の講義の流れをご説明されたのが大変良かった。
- ◆講義前半は、震災の歴史、後半はそれに呼応する現状やこれからの対策や考え方をスライドを効果的に用い、生徒自らに考えを促す素晴らしい講義内容でした。

⑧ 平成28年11月17日(木) 於：愛知県立海翔高等学校 参加者： 28名

テーマ「電子紙芝居を使い、水害について考えるワークショップ」 講師： 名古屋工業大学 秀島栄三氏



主な内容:

デジタル防災紙芝居鑑賞の後、生徒の皆さんは3グループに分かれて議論し、議論の結果を発表し合っていました。

出前講座依頼者の感想:

- ◆生徒の意識がどうしても地震に傾きがちなので、本校地域でも最も懸念されている水害への意識を高めることができたことがとても良かったです。
- ◆グループワークと先生のご講評によるフィードバックもできました。

⑨ 平成29年 1月12日(木) 於：岡崎市立北中学校 参加者： 190名

テーマ「近づく大地震ー地震発生のしくみと予測ー」 講師： 名古屋大学 中井健太郎氏



主な内容:

液状化時の影響・被害・メカニズム、巨大地震に備えるべきことペットボトルを使いダイレイタンスーを解説いただきました。

出前講座依頼者の感想:

- ◆様々な映像や図が順に出てきて、生徒が飽きずに分かりやすい講義内容でした。

出前講座・市民講座実績

◇平成27年度

① 平成27年 4月25日(土) 於：環境税制研究会 参加者： 21名

テーマ「土砂災害はどうしておきる」

講師： 三重大学 酒井俊典氏



出前講座依頼者の感想：

- ◆ビデオによりテーマが具体的となり、研修者の理解度も増加しました。
- ◆研修者の質問にもていねいに回答されており、全体的に良い印象でした。

② 平成27年 6月 8日(月) 於：愛知県立春日井高等学校 参加者： 35名

テーマ「地震と津波」

講師： 名古屋大学 中村友昭氏

出前講座依頼者の感想：

- ◆津波と地震について、発生する原理をはじめ、非常に詳しく説明していただきました。
- ◆難しい数式もあまりなく、クイズ形式で進行していただいたので、生徒にとって理解しやすかったと思います。

③ 平成27年 7月13日(月) 於：環境税制研究会 参加者： 20名

「阪神・淡路大震災ならびに東日本大震災から
テーマの
教訓と大震災への対応について」

講師： 名古屋工業大学
山本幸司氏

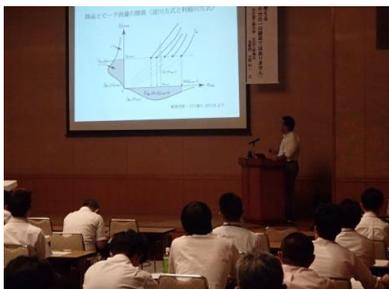
出前講座依頼者の感想：

- ◆今後発生するであろうと思われる東海・東南海・南海地震に備えて、心の準備が必要であることを改めて認識できました。
- ◆BCPという概念について、当研究会においても考えたいと思いました。

④ 平成27年 9月 2日(水) 於：静岡県及び静岡県河川協会共催の事務研修会 参加者： 57名

テーマ「水域防災を考える
千年確率は千分の1の確率ではありません」

講師： 名古屋工業大学
北野利一氏



出前講座依頼者の感想：

- ◆題材が元々難しい内容のため、受講者からは内容が難しかったとの感想も聞かれましたが、漫画や身近な題材を事例にするなど、分かり易くなるような工夫をいただけたため、興味深く聞くことができました。

富山県高等学校教育
⑤ 平成27年10月 6日(火) 於：研究発表大会工業部会 参加者： 42名

テーマ「北陸新幹線の構造物の維持管理」 講師： 西日本旅客鉄道(株)
尾花祥隆氏・林高之氏



出前講座依頼者・参加者の感想：

- ◆土木構造物の維持管理についての詳細な内容以外に、駅舎のデザインに関する話も聞くことができ、とても興味深かった。
- ◆今回初めて出前講座をお願いしましたが、大変有意義で良い研究発表大会になりました。
- ◆富山や北陸の地域に関連した内容の講演があればいいと思います。(例えば、富山の新交通、立山砂防、これからの北陸新幹線など)

⑥ 平成27年10月20日(火) 於：愛知県立鶴城丘高等学校 参加者： 35名

テーマ「緊急地震速報で命を守る
ー地震・津波のメカニズムを知るー」 講師： 愛知工業大学 横田崇氏

出前講座依頼者の感想：

- ◆地震のメカニズム、津波と波浪の違い、断層について、防災・減災の概念、緊急地震速報の発信方法等、順を追って講義をしていただきました。

⑦ 平成27年11月10日(火) 於：愛知県立鶴城丘高等学校 参加者： 37名

テーマ「地震と津波、津波と高潮」 講師： 名古屋大学 水谷法美氏



出前講座依頼者の感想：

名古屋市域石油コンビナ－
⑧ 平成27年11月25日(水) 於：ト等特別防災区域協議会 参加者： 110名

テーマ「東日本大震災を踏まえて南海トラフ巨大地震
の液状化被害を考える」 講師： 名古屋大学 野田利弘氏

出前講座依頼者の感想：

- ◆少額な予算で内容が濃い講演会が出来、大変助かりました。
- ◆聴講者に合わせた内容で、大変参考になり、今後の防災活動及び防災意識が向上したい講演会でした。

三菱重工業(株)名古屋
⑨ 平成28年 1月22日(金) 於：誘導推進システム製作所 参加者： 82名

テーマ「近づく大地震ー地震発生のしくみと予測ー」 講師： 長野工業高等専門学校
古本吉倫氏

出前講座依頼者の感想：

- ◆会社のある愛知県を中心に、日本全体から中部、東海、愛知と理解しやすい内容でした。
- ◆会社内の年間計画として、1年に2度、社外から先生を招き、勉強会として開催しています。

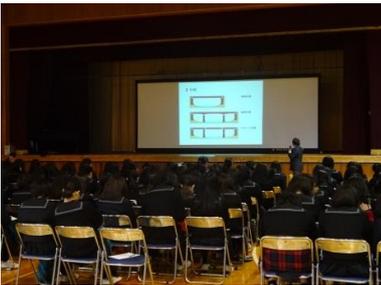
⑩ 平成28年 1月29日(金) 東海地区土木教育研究会 於：研究協議会 参加者： 27名
テーマ「災害情報の見方 (特に地盤災害に関する降雨情報について)」 講師： 玉野総合コンサルタント(株) 長谷川謙二氏



出前講座依頼者・参加者の感想：

- ◆近年、日本各地で多発している豪雨災害、土砂災害について、詳しく勉強させていただきました。
- ◆今後、高校の防災教育に活かしたいと思います。

⑪ 平成28年 1月30日(土) 名古屋女子大学 於：中学校高等学校 参加者： 187名
テーマ「橋のふしぎー暮らしを支える橋の科学ー」 講師： 名古屋工業大学 永田和寿氏



出前講座依頼者・参加者の感想：

- ◆写真や図が多く用いられており、わかりやすかったです。
- ◆知っている橋の大きさなどへの驚きがありました。
- ◆実際にアーチをつくりあげることができ、生徒たちが楽しめました。

出前講座・市民講座実績

◇平成26年度

① 平成26年 5月 8日(水) 於：愛知県立起工業高等学校 参加者： 20名

テーマ「橋のふしぎ」

講師：

名古屋工業大学
永田和寿氏

参加者の感想：

◆物理学の力学って？でも実験・実習もあり、よかった。

② 平成26年 6月 9日(月) 於：愛知県立春日井高校 参加者： 38名

「東海大地震と被害の話
テーマ（来るべき巨大地震に備えて —地震災害を探
る—）」

講師：

中部大学 山田公夫氏



参加者の感想：

◆地震の種類もいろいろあるんだと思いました。

③ 平成26年 6月21日(土) 於：西尾市立一色南小学校 参加者： 42名

テーマ「液状化しそうな地盤とは？ 作って調べてみよう」

講師：

名古屋大学 中井健太郎氏

参加者の感想：

液状化ってこのように起こるんだ。実験映像もあって、面白かったです。

④ 平成26年 7月 9日(水) 於：環境税制研究会 参加者： 22名

テーマ「進化しつづける建設材料」

講師：

岐阜大学 国枝稔氏



出前講座依頼者の感想：

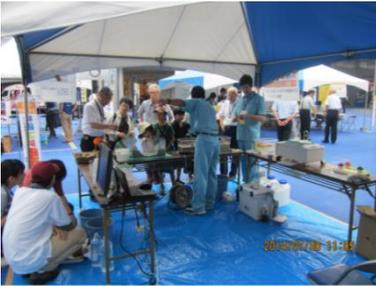
◆今後も環境と税制面について研修会を開催したいと思います。

⑤ 平成26年 7月29日(火)、30日(水)於：土木学会100周年事業委員： 参加者： 約1,100名

テーマ「あ～地震だ！！君んちの地盤は大丈夫？」

講師：

地盤工学会中部支部
山田正太郎氏他



現場の様子：

◆大勢の人に来ていただきました。

⑥ 平成26年 8月21日(木) 於：北名古屋市

参加者： 31名

テーマ「道づくりの歴史と未来」

講師：

名古屋市緑政土木局
兼岩孝氏



参加者の感想：

◆自転車と道路交通法の関連が良く理解できました。

◆知っている地名が多くあって、また、橋の名前の由来にも興味がわきました。

⑦ 平成26年 8月28日(木) 於：北名古屋市

参加者： 29名

テーマ「名古屋の地下鉄建設の歩み及び地下鉄線路
保守作業」

講師：

名古屋市交通局
伊藤正弘氏



参加者の感想：

◆地下鉄建設苦勞が分かりました。また、建設した後の保守点検の重要性が理解できました。

⑧ 平成26年 9月 4日(木) 於：稲沢市立大里西小学校

参加者： 73名

テーマ「液状化しそうな地盤とは？ 作って調べてみよう」

講師：

名古屋大学 山田正太郎氏



現場の様子から：

◆実験面白かったね。

◆お父さん、お母さんにも教えてあげたいね。

⑨ 平成26年10月15日(水) 於：愛知県立守山高等学校 参加者： 481名
テーマ「都市河川の環境と防災（都市型水災とその対策）」 講師： 中部大学 松尾直規氏

参加者の感想：

- ◆内水氾濫・・、外水氾濫????。こういうことか。
- ◆私たち高校生にも何かできることありそうだと感じました。

⑩ 平成26年10月18日(土) 於：西尾市立平坂小学校 参加者： 80名
テーマ「液状化しそうな地盤とは？ 作って調べてみよう」 講師： 中部大学 山田公夫氏

現場の様子：

- ◆液状化を実際に見て、みんなとても驚いていました！

⑪ 平成26年11月 6日(木) 於：菰野町立菰野中学校 参加者： 247名
テーマ「電子紙芝居を使い、水害について考えるワークショップ」 講師： 名古屋工業大学 秀島栄三氏

参加者の感想：

- ◆菰野町付近の地盤だけではなく、東海地方の地盤はどのようになっているのか、さらに興味がわきました。

⑫ 平成26年12月 5日(金) 於：愛知県企業庁 参加者： 30名
テーマ「コンクリート構造物の維持管理－ひび割れの調査・補修・補強－」 講師： 名古屋大学 中村光氏

参加者の感想：

- ◆コンクリート構造物の弱点やひび割れのメカニズムについて、どの段階に原因があるものかが理解できました。

⑬ 平成26年12月 5日(金) 於：北勢測量設計技術協議会 参加者： 25名
テーマ「進化しつづける建設材料」 講師： 岐阜大学 国枝稔氏

出前講座依頼者の感想：

- ◆社会インフラからセメントのミクロの世界まで、幅広い視野と先駆的な研究成果に基づき、これからのインフラの維持管理に不可欠となる材料学の魅力と現場に必要な情報を存分に伝えていただきました。

⑭ 平成26年12月 9日(火) 於：名古屋市立山王中学校 参加者： 120名
テーマ「海溝型巨大地震と内陸型地震について知っておこう」 講師： 岐阜大学 能島暢呂氏



参加者の感想：

- ◆津波も怖いけど、内陸型の直下地震も怖いですね。

⑮ 平成27年 1月19日(月) 於：名古屋市立名城小学校 参加者： 46名
テーマ「生態系と開発、環境・外来種、生物多様性、環境と生物の関係に関する一般知識から最先端の研究まで」 講師： 名古屋工業大学 増田理子氏



参加者の感想：

- ◆わたしたちが日常生活の中で使った水は、その後、どうなるのでしょうか？
- ◆自分たちが汚してしまった水は、川や海へと流れ、干潟にたまって貝が食べて、きれいな水にしてるんだって。また、その貝を自分たちが食べるんですね。
- ◆あまり水が汚れていると、赤潮が発生して貝さんも死んでしまうからよくないです。だから、水を汚さないようにすることは、結局は、自分たちのためになるということでした。」

⑯ 平成27年 2月 2日(月) 於：愛知県立加茂丘高等学校 参加者： 80名
テーマ「災害情報の見方(特に地盤災害に関する降雨情報について)」 講師： 玉野総合コンサルタント(株) 長谷川謙二氏



参加者の感想：

- ◆実際、近くで大きな災害が起きているんですね。
- ◆実際に私たちはどのように取り組めばいいのでしょうか？

⑰ 平成27年 2月 9日(月) 於：名古屋市立鶴舞小学校 参加者： 28名
テーマ「生態系と開発、環境・外来種、生物多様性、環境と生物の関係に関する一般知識から最先端の研究まで」 講師： 名古屋工業大学 増田理子氏

参加者の感想：

- ◆干潟にいるカニや貝ってすごいですね。でも、私たちは水を汚さないようにしないとイケないですね。

⑱ 平成27年 2月20日(金) 於：丹羽郡地方教育事務協議会 参加者： 20名
テーマ「コンクリート構造物の維持管理」 講師： 名古屋大学 中村光氏

参加者の感想：

- ◆コンクリートできている校舎の中で仕事をしていますが、コンクリートの事がよくわからなかったが、ひび割れの原因等が理解できた。
- ◆実際の校舎を会場にしたツアー等もあれば、参加したいです。